

2025 年 9 月 4 日

鹿児島大学病院 消化器外科で消化器癌の治療を受けた患者さんへ

(生命科学・医学系研究に関する情報)

鹿児島大学病院消化器外科では、以下の生命科学・医学系研究を実施しております。この研究は、過去に消化器外科で手術をお受けになった患者さんで、診断や治療のために採取された組織の検体の余剰分を学術研究に使用することについて同意いただいている方々の検体を分析することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

消化器癌における癌免疫療法の有効な治療効果予測因子の同定

【研究の目的】

近年癌免疫治療の進歩は目覚ましく、抗癌剤、放射線治療、外科治療に続く第4の癌治療といわれています。特に免疫チェックポイント阻害剤による免疫治療は、臨床研究の結果より胃癌、食道癌、肝癌、一部の大腸癌も治療の適応となりました。しかし治療効果が認められるのは1～2割の患者さんのみであり、治療効果を予測する有用なマーカーの開発が求められています。本研究は消化器癌の切除標本を用いてその免疫状態を評価し、免疫治療に対する効果を予測できるマーカーを発見することが目的です。

【研究の方法】

通常診療において過去に採取された生検標本、手術切除標本で、PD-1、PD-L1などの免疫チェックポイント分子の発現、腫瘍内のリンパ球の数や性質を評

価し、腫瘍内の免疫状態を調べます。さらに実際に免疫チェックポイント阻害薬による治療を行った症例でも検討し、治療効果を含め比較検討することで、治療効果予測のための新たなマーカーを同定します。さらに同定した分子が有用であるか、細胞実験、動物モデルで検証します。

【研究期間】

研究実施許可日 ～ 2027 年 3 月 31 日

【対象となる患者さん】

1997 年 1 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日までに、鹿児島大学病院消化器外科で手術をお受けになり、癌組織の摘出をされた患者さんを対象にしています。

【試料や診療録（カルテ）から利用する情報】

摘出された組織からは、蛋白の発現や免疫細胞の状態を評価します。カルテからは臨床病理学的因子（年齢、性別、病期、リンパ節転移・遠隔転移の有無等）を利用します。これらの情報は研究責任者である大塚隆生が責任をもって管理いたします。

【研究組織】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関：鹿児島大学病院 消化器外科
鹿児島大学病院 検査部

研究責任者：鹿児島大学病院 消化器外科
教授 大塚 隆生

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や生年月日など、患者さんを直接特定できる個人情報を特定の個人を識別することができないように加工します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科消化器外科学分野の研究費（使途特定寄附金）で実施します。この研究は、研究者が独自に計画し、実施します。企業等の第三者機関からこの研究のための資金提供や労務提供は受けていませんので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35 番 1 号

鹿児島大学病院 検査部

特任助教 田上 聖徳

電話 099-275-5361 FAX 099-275-7426